



# ユーザーマニュアル

2025/06 (v2.5)

## ドライブレコーダー DrivePro 550



# 目次

- 1. パッケージ内容
- 2. 使用前の準備
  - 2-1 各部名称
  - 2-2 microSDカードの取り付け
  - 2-3 DriveProの取り付け
  - 2-4 電源への接続
  - 2-5 機能ボタン
  - 2-6 LED表示
  - 2-7 日時とタイムゾーンの設定
- 3. 録画
  - 3-1 通常録画
  - 3-2 緊急録画
  - 3-3 パーキングモード
- 4. ビデオ再生とフォト表示
  - 4-1 ビデオの再生 / フォトの表示
  - 4-2 ビデオ/フォトファイルの削除
  - 4-3 ビデオの保護
- 5. 設定
  - 5-1 メニュー項目
  - 5-2 ファームウェアの更新
- 6. DriveProアプリの使い方
  - 6-1 アプリのダウンロードとインストール
  - 6-2 DriveProへの接続
- 7. DrivePro Toolboxソフトウェア
- 8. PCへのファイル転送
- 9. トラブルシューティング
- 10. 安全のための使用上の注意
- 11. 仕様
- 12. EU Compliance Statement
- 13. リサイクルと環境への配慮
- 14. Federal Communications Commission (FCC) Statement
- 15. 保証規定
- 16. オープンソースソフトウェアの開示
- 17. ソフトウェア利用許諾契約(EULA)
- 18. Eurasian Conformity Mark (EAC)

# 1. パッケージ内容

DriveProのパッケージには以下が同梱されています。

DrivePro 550



取付けブラケット(吸盤タイプ)



microSDカード



カーアダプタ



Quick Start Guide  
(クイックスタートガイド)



## 2. 使用前の準備

### 2-1 各部名称



## 2-2 microSDカードの取り付け

録画をする前にはmicroSDカードをDriveProに挿入してください。

1. microSDカードはDriveProの側面のカードスロットに正しく差し込んでください。



### ⚠ "注意"

- DriveProで新しいmicroSDカードを使用する場合はフォーマットを行ってください。録画中に設定ボタン  を押し、Format Card (カードフォーマット)を選択してフォーマットします。
- microSDカードのアロケーションユニットサイズが32KB以上に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は録画を行う前にDriveProがmicroSDカードのフォーマットを要求します。
- フォーマットを実施するとmicroSDカードに保存されているデータは全て消去されます。
- DrivePro 550が対応しているファイルシステムはFAT32です。exFATとNTFSには対応していません。

2. カードを押すとカードスロットから排出され、取り出すことができます。

### ⚠ "注意"

録画データの損傷や消失を防ぐために、シャットダウン中にmicroSDカードを取り出さないでください。

- より良い録画のために、トランセンドの高耐久microSDカードやMLC NANDフラッシュを採用しているメモ리카ードの利用を推奨しています。
  - [高耐久microSDHCカード](#)
  - [高耐久 microSDXC 350Vカード](#)
- メモ리카ードの容量別の録音時間の目安については、[ウェブサイトのよくある質問](#)を確認ください。

## 2-3 DriveProの取り付け

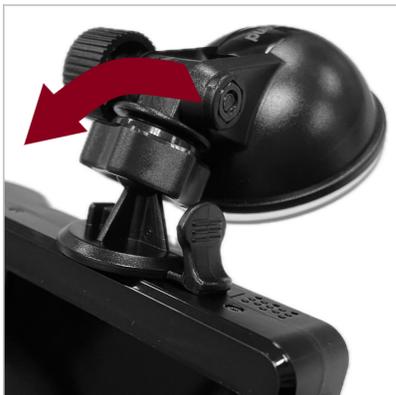
1. 取り付けブラケットをDrivePro上部に差し込みカチッと音がするまでスライドさせて固定します。



2. DriveProを取り付ける位置を決めてフロントガラスを清掃します。撮影範囲の広い映像を録画するためにバックミラー周辺にDriveProを取り付けることをお勧めします。
3. ブラケットのレバーを押し倒し、DrivePro をフロントガラスにしっかりと取り付けて固定します。



4. 調節ノブを反時計回りに回すと緩みますのでDriveProの位置を調整してください。



5. DriveProの位置が決まったら、調節ノブを時計回りに回して固定します。その場所にDriveProがしっかりと安全に固定されていることをご確認ください。



## 2-4 電源への接続

1. カーアダプタのマイクロUSB端子をDriveProのUSBポートに接続します。
2. カーアダプタのもう一方の端子の出力プラグを車のシガーソケットに接続します。



3. 車のエンジンをかけると、DriveProは自動的に起動して録画を開始します。
4. エンジンを停止すると、DriveProは自動的に録画中のデータを保存して電源オフとなります。

### "注記"

- DriveProをシガーソケットに接続する前にmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。
- 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。

## 2-5 機能ボタン



モード	A	B	C	D
録画	 電源 / Wi-Fi*	 ファイル一覧	 設定	 スナップショット
ブラウズ/設定	 戻る	 上	 下	OK OK
ビデオ再生	 戻る	 再生/一時停止	 保護/保護解除	 削除
フォト閲覧	 戻る*	 上	 下	 削除

-  を長押しすると、どのモード時にでもDriveProを電源オン/オフできます。
-  を長押しすると、マイクのオン/オフを切り替えられます。
-  を長押しすると、タイムラプス機能のメニューに移動できます。
- Wi-Fi機能はDriveProが電源に接続されている場合のみ利用できます。

## 2-6 LED表示

LED表示	状態
点灯(赤)	スタンバイ
点滅(赤)	録画中
点滅(青)	Wi-Fiオン & 録画中

### "注記"

Wi-Fi機能はDriveProが電源に接続されている場合のみ利用できます。

## 2-7 日時とタイムゾーンの設定

日付と時間を設定します。

- 録画中に  を押します。
- ▲/▼ を操作してDate/Timeを選択し、OKを押します。

Date/Time

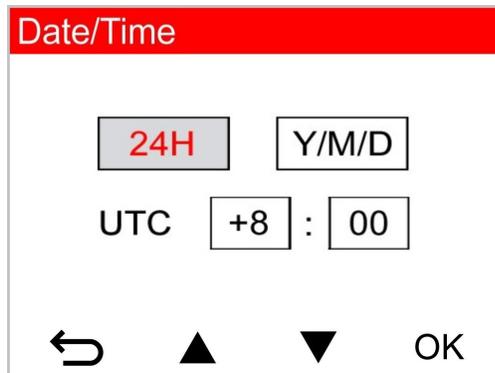
2024 / 12 / 31

13 : 30 : 59

← ▲ ▼ OK

- ▲/▼ を操作して値を調節し、OKを押すと次の値の入力欄に移動します。

4. 手順3を繰り返して日時とタイムゾーンを設定し、OKを押します。  
日本の場合、タイムゾーンは“+9 : 00”と設定します。



## 3. 録画

### 3-1 通常録画

録画時の画面表示

	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 録画状態</li><li>2. 録画時間(1ファイル当たり)</li><li>3. 解像度とフレームレート</li><li>4. Wi-Fi接続状態</li><li>5. GPS状態</li><li>6. ボイス録音状態</li><li>7. バッテリー状態</li><li>8. 日時</li></ol>
--	--

- 車のエンジンをかけると、DriveProは自動的に起動して録画を開始します。  
デフォルトでは3分毎に録画ファイルを保存します。録画の長さは設定メニューで調整できます。  
エンジンを止めるとDriveProは自動的に録画を停止して電源をオフにします。

### 3-2 緊急録画

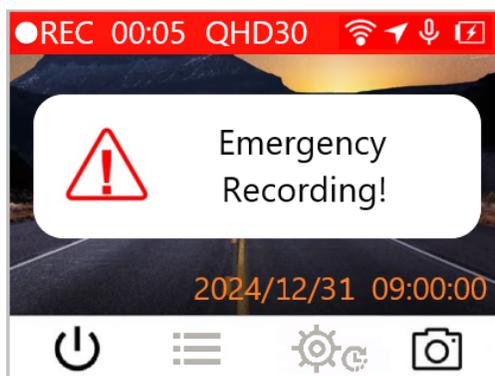
メモリ容量の30%が緊急録画ファイルの保存用に確保されています。緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされないように保護されます。

## 手動緊急録画

録画中にDrivePro底面部の緊急ボタンを押すと、手動で緊急録画モードに切り替えることができます。



緊急録画を開始すると下図のように画面にメッセージが表示されます。



## Gセンサー緊急録画

録画中にDriveProが衝撃を感知すると自動的に緊急録画モードに切り替わります。

- Gセンサーの感度を“高”に設定すると、わずかな衝撃も感知して緊急録画モード状態になります。
- Gセンサーの感度を“低”に設定すると、大きな衝撃のみ感知して緊急録画モード状態になります。

設定メニューでGセンサーの感度調節や有効/無効設定を行います。

### "注記"

ループ録画機能はデフォルトでは有効に設定されています。緊急録画ファイルの保存領域に空きがなくなると、新しい緊急録画ファイルは最も古い緊急録画ファイルを上書きして保存されます。

## 3-3 パーキングモード

車のエンジンをオフにした後、DriveProは自動的にパーキングモードに切り替わり、動作や衝撃を検出すると録画を行います。この機能はデフォルトでは無効になっており、設定メニューで有効にすることができます。

### "注記"

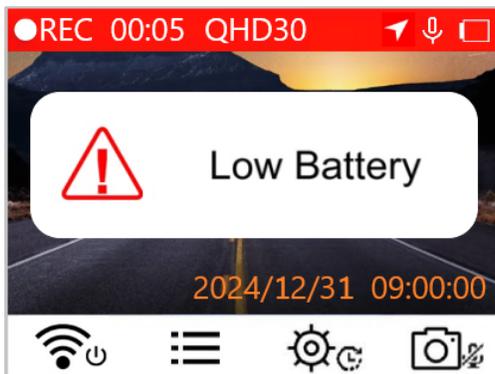
パーキングモードを有効にしている場合、エンジンをオフにした後にDriveProの内蔵バッテリーを消費します。

パーキングモードのスタンバイ中、液晶画面はオフ状態で録画ランプは点灯(赤)します。DriveProが動作や衝撃を感知すると、液晶画面はオン状態になり、録画ランプは点滅(赤)して約15秒間の録画を行います。その間に新たな動作や衝撃を感知しなければ、DriveProはスタンバイ状態に戻ります。また、車のエンジンをオンにすると、DriveProは通常録画を開始します。

トランセンドのカーアダプタは車のエンジンが停止すると電源供給ができません。長時間パーキングモードを利用する場合は外付けバッテリーなどを利用してください。尚、録画中に  を長押しすることにより手動でパーキングモードに切り替えることができ、もう一度  を長押しするとDriveProをオフにできます。

## バッテリー残量少

日時設定に問題が発生しないように、“Low Battery (バッテリー残量少)”のメッセージが表示されたら、すぐにDriveProのバッテリー充電を行ってください。また、充電せずにDriveProを内蔵バッテリーのみで起動させないでください。



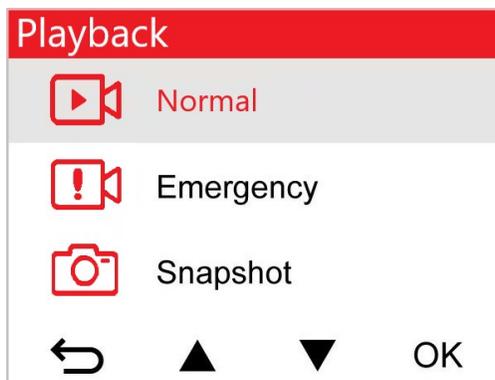
### "注記"

内蔵バッテリーで録画を行う場合は十分な電源供給ができるようにしてください。

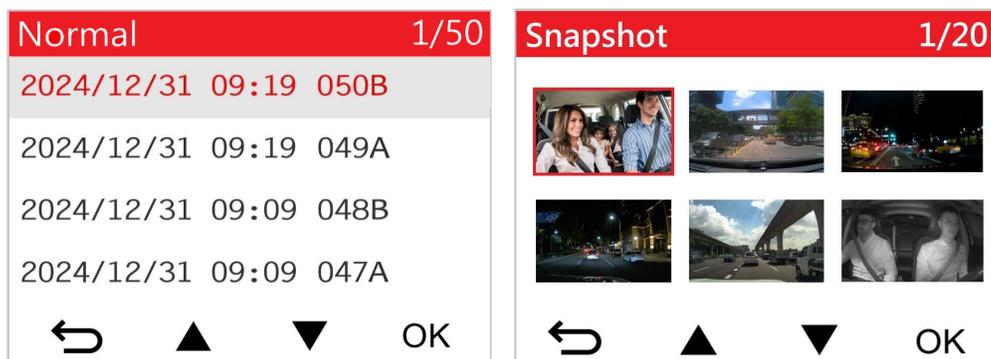
# 4. ビデオ再生とフォト表示

## 4-1 ビデオの再生 / フォトの表示

1. 録画中に  を押します。
2. ▲ / ▼ を操作して再生/表示するファイルの種類を選択し、OKを押します。



3. ▲ / ▼ を操作して再生/表示させるファイルを選択し、OKを押します。



4.  を押すとファイル一覧に戻ります。

## 4-2 ビデオ/フォトファイルの削除

1.  を押すとビデオ/フォトファイルを削除します。

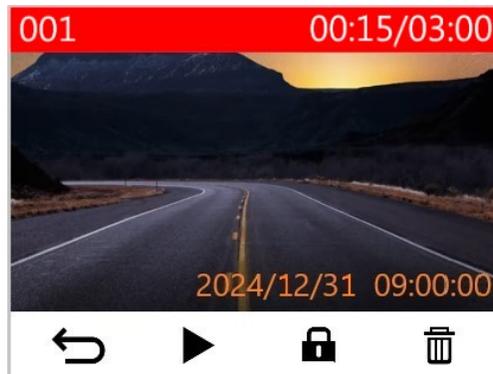


2. “Delete? (削除しますか)”のメッセージが表示されるので、▲/▼ を操作して削除/削除のキャンセルを選択し、OKを押します。



## 4-3 ビデオの保護

1.  を押してビデオファイルを保護します。



2. “Lock? (ロックしますか)”のメッセージが表示されるので、▲/▼ を操作してロック/ロックのキャンセルを選択し、OKを押します。



## 5. 設定

設定メニューでは録画解像度、録画時間、Gセンサーの感度を調節できます。また、日時設定、表示言語の変更、メモ리카ードのフォーマット、ファームウェアの更新も行えます。

1. 録画中に  を押します。



2. ▲/▼ を操作して設定を行う項目を選び、OKを押します。



3. ▲/▼ を操作して設定内容を選択し、OKを押します。



4.  を押すと設定メニューに戻ります。

## 5-1 メニュー項目

ドライブレコーダー		
アイコン	項目	機能 / オプション
	解像度	動画の解像度設定(フロントレンズ+リアレンズ)
		1440P30+1080P30 (デフォルト) / 1080P60+1080P30 / 1080P30+1080P30 / 720P30+720P30
	画面の明るさ	明るさの調節
		+2.0 / +1.5 / +1.0 / +0.5 / 0.0 (デフォルト) / -0.5 / -1.0 / -1.5 / -2.0
	ボイスレコード	録画中のマイクのオン/オフ
		無効 / 有効(デフォルト)
	録画の長さ	録画ファイルの録画時間を設定
		1分 / 3分(デフォルト) / 5分
	ビデオスタンプ	録画中のファイルに現在時刻やGPS情報の表示設定
		無効 / 有効(デフォルト)
	ループ録画	microSDカードの空き容量が無くなると古いファイルを削除して新しいファイルを保存
		無効 / 有効(デフォルト)
	LED信号機設定	信号の点滅を軽減するための適度な周波数を設定
		50Hz (デフォルト) / 60Hz 東日本は50Hz、西日本は60Hzに設定します。
	タイムラプス動画	<p>タイムラプス動画の時間間隔を設定 この設定は手動でのみ有効にすることができ、通常録画モードから切り替わります。</p> <p> 注記: 車のバッテリーを使い果たしてしまわないように、DrivePro はタイムラプスモードで連続 48時間録画した場合、自動的に電源オフとなります。</p>

無効(デフォルト) / 1秒/ショット / 2秒/ショット / 4秒/ショット

## 運転支援

アイコン	項目	機能 / オプション
	車線逸脱防止	走行速度が設定値を超えたときの車線逸脱防止支援システムによるアラームを設定(Wi-Fi機能と排他利用です。) 🔔 注記: フロントカメラの解像度が60FPSの1080Pに設定されていると、この機能は自動的に無効になります。
		無効(デフォルト) / 60km/h ~ 150km/h (40mph ~ 95mph)
	前方衝突警報	走行速度が設定値を超えたときの前方衝突警報システムによるアラームを設定(Wi-Fi機能と排他利用です。) 🔔 注記: フロントカメラの解像度が60FPSの1080Pに設定されていると、この機能は自動的に無効になります。
		無効(デフォルト) / 60km/h ~ 150km/h (40mph ~ 95mph)
	速度警報	走行速度が設定値を超えたときのアラームを設定
		無効(デフォルト) / 60km/h ~ 150km/h (40mph ~ 95mph)
	速度単位	速度の単位を設定
		km/h (デフォルト) / mph
	運転支援ディスプレイ	走行速度やアラートを表示
		無効(デフォルト) / 有効
	ヘッドライト・リマインダー	DriveProが低光量を感知した場合に表示するメッセージの設定
		無効(デフォルト) / 有効
	長時間運転アラート	運転者に休憩を促すメッセージを表示させる時間を設定
		無効(デフォルト) / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間
	パーキングモード	エンジンを停止後も動作感知による録画継続を設定 (このモードはDriveProのバッテリーを消耗します。)

無効(デフォルト) / 有効

システム

アイコン	項目	機能 / オプション
	ディスプレイ	両レンズ表示、フロントレンズ/リアレンズのみ表示
		フロント / リア / 両方(デフォルト)
	音量	スピーカーの音量調節
		0~7 (0: 消音モード)
	Gセンサー	Gセンサーの感度を調節
		無効 / 低(デフォルト) / 中 / 高
	電源オフ	電源をオフにするタイミングを設定
		無効 / 10秒(デフォルト) / 30秒
	本体画面の 消灯	録画開始後に画面表示を自動消灯する時間を設定  注記:速度警報、車線逸脱防止、前方衝突警報、ヘッドライト・リマインダー、長時間運転アラート、運転支援ディスプレイが有効になっている場合、この設定は無効になります。
		無効(デフォルト) / 1分後 / 3分後
	GPS ステータス	受信GPS衛星数とGPS信号の強さを表示
	Wi-Fi	Wi-Fiのオン/オフを設定
		オフ / オン(デフォルト)
	日時設定	日時やタイムゾーンを設定
	言語	表示言語を設定
		English / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / Deutsch / Español / Français / Italiano / Русский / Português / Ελληνικά / Türkçe / 한국어 / ไทย / Polski

	カード フォーマット	microSDカードのフォーマット ⚠ 注意: フォーマットを実行するとカード内のすべてのデータは削除されます。 いいえ(デフォルト) / はい
	ファーム ウェア 更新	ファームウェアを最新バージョンに更新 <a href="https://www.transcend-info.com/Support/service">https://www.transcend-info.com/Support/service</a> いいえ(デフォルト) / はい
	設定の初期 化	全ての設定を製品出荷時と同じ状態にリセット いいえ(デフォルト) / はい
	画面の位置	録画画面の位置を調整
	情報	DriveProのファームウェアバージョン、カード容量、SSID、SSIDパスワード、モデル名を表示

## 5-2 ファームウェアの更新

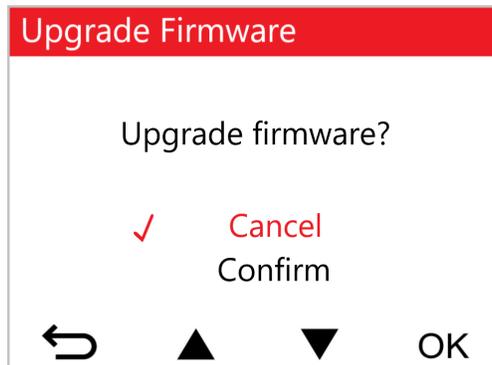
1. トラнсセンドのウェブサイトからダウンロードしたファイルを解凍し、microSDカードの“SYSTEM”フォルダに保存します。

Name	Date
DP550	2020/12/25 AM
SYSTEM	2020/12/25 AM

2. 最新バージョンのファームウェアを保存したmicroSDカードをDriveProに挿入します。
3. 設定項目からFirmware Upgrade (ファームウェア更新)を選び、OKを押すとDrivePro がファームウェアのデータにアクセスし、自動的にファームウェア更新を行います。

### "注記"

ファームウェアの更新には約1-2分かかります。更新中はDriveProの電源をオフしないようにしてください。更新が完了すると、DriveProは自動的に再起動します。



### "注意"

ファームウェアのアップデート中は電源供給を妨げたり、microSDカードを取り外したりしないでください。

ファームウェアのアップデートに失敗してDrivePro が起動しなくなった場合はトラнсセンドの販売代理店またはカスタマーサポートまでお問い合わせください。

## 6. DriveProアプリの使い方

iOS/Android機器からDriveProにアクセスして録画中の映像をライブビューで見たり、DriveProの機能を管理したり、録画ファイルをダウンロードして再生することが可能です。



DrivePro アプリ



### 6-1 アプリのダウンロードとインストール

1. App StoreまたはGoogle Playで“DrivePro”を検索します。
2. [DriveProアプリ](#)をダウンロードし、インストールします。

インストールが完了すると、iOS/Android機器のホーム画面にアプリのアイコンが表示されます。アプリを使用する前に、DriveProのユーザーマニュアルを参照ください。

### 6-2 DriveProへの接続

以下のいずれかの方法でiOS/Android機器とDriveProを接続できます。

方法1: DriveProに表示されるQRコードをスキャン

1. DriveProが起動中に電源ボタン  を押します。

2. iOS/Android機器にインストールされているDriveProアプリを起動し、画面右上にあるアイコンをタップするとiOS/Android機器のカメラが起動するので、表示されたQRコードを撮影すると、モバイル機器をDriveProにWi-Fi接続します。



#### 方法2: DriveProのSSIDを選択

1. iOS/Android機器の設定メニューを開き、Wi-Fi設定を選択します。
2. DrivePro 550のSSIDを選択します。(デフォルトSSID/パスワード: 12345678)



3. iOS/Android機器のホーム画面に戻り、DriveProアプリのアイコンをタップするとアプリが起動してDrivePro 550に接続します。



4. iOS/Android機器がDriveProにアクセスしている場合、DriveProの液晶表示は上図のようになります。

 "注記"

- 初めてアプリに接続する際に、DriveProのWi-Fiパスワードを変更することをお勧めします。
- SSIDとWi-FiセキュリティキーはDriveProアプリの設定メニューで変更できます。

5. 詳細の操作手順は[DrivePro FAQ](#)を参照ください。

# 7. DrivePro Toolboxソフトウェア

DrivePro ToolboxはWindowsとmacOS用のソフトウェアで、コーデックのインストール不要でDriveProで記録した録画ファイルを再生でき、走行経路が確認できます。

DriveProをPCに接続する場合のシステム要件は以下の通りです。

- USBポートを搭載したデスクトップ/ノートPC
  - Microsoft Windows 10以降
  - macOS 10.12以降

1. インストールファイルをダウンロードします。

<https://www.transcend-info.com/support/software/drivepro-toolbox>

2. DrivePro ToolboxソフトウェアをPCにインストールします。

機能	
 ソート	動画ファイルを名前や録画日付、グループで並べ替え
 再生	DriveProまたは動画を記録したmicroSDカードを取り付けたカードリーダーやアダプタをPCに接続するだけで動画を再生
 編集	選択した動画をトリムし、新しいクリップとして保存したり、再生中にスナップショット撮影が可能
 走行経路	記録映像の再生中に走行経路を地図に表示します。 🔔 注記: この機能はGPS受信機を備えたDrive Pro (DrivePro 550, DrivePro 520, DrivePro 250, DrivePro 230, DrivePro 220)のみに対応しています。
 ナンバープレート 検出	映像内のナンバープレートを自動認識し、ビデオクリップを抽出 🔔 注記: この機能はWindows 64ビット版のみに対応しています。



## 動画の結合とエクスポート

フロントカメラとリアカメラで録画した動画を同時に再生したり、再生用に結合してエクスポートすることができます。

 注記: デュアルカメラモデルのDrivePro (DP550/DP520)のみに対応しています。

# 8. PCへのファイル転送

microSDカードをDriveProから取り出し、カードリーダーを使用してデータをPCに転送します。

### "注記"

macOSでメモリカード内のファイルを手動で削除した場合、それらのファイルは一時的に隠しファイルとしてメモリカード上に残り、容量を占有することがあります。完全に空き容量を確保するには、ゴミ箱を空にするか、メモリカードをフォーマットしてください。

# 9. トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでもFAQとサポート情報を公開しております。ハードウェアに関する事はDriveProユーザーマニュアルを参照ください。

- DriveProをボタン操作できません(フリーズまたは遅延)
  - DriveProからカーアダプタを外し、再度接続してください。
- DriveProがmicroSDカードの録画ファイルを読み出せません
  - 編集等した動画はDriveProで再生できない場合があります。
- 緊急録画ボタンを押しても何も起こりません
  - 緊急録画ができるのはDriveProが録画中のときだけです。

# 10. 安全のための使用上の注意

以下の安全のための使用ガイドラインは重要です! 記述に従って使用者の安全を確保し、DrivePro自体の損害を受けぬように正しくご使用ください。

- 通常の使用
  - 車両にのみ使用してください。
  - 走行中、運転者はDriveProやDriveProアプリの操作や画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は必ず安全な場所に停車してから操作してください。
  - 走行中に緊急録画ボタンを押すなどの操作をしないでください。
  - DriveProは連続で映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
  - DriveProは事故の証拠として効力を保証するものではありません。
  - DriveProの故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害について弊社は一切責任を負いません。
  - DriveProによって録画した映像は使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
  - DriveProの動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対にしないでください。
  - 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
  - LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。その場合、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。
  - DriveProを非常に高温または低温な環境下で使用しないでください。また、直射日光が当たる場所、暖房機器の近く、湿度やほこりの多いところに保管しないようにしてください。
  - 水や他の液体がDriveProにかからないようにしてください。
  - 気温の低いところから高いところへ移動すると、本体内に結露が生じることがあります。故障や発熱の原因となりますので、そのまま使用し続けしないでください。
  - カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布で軽く拭いてください。
  - 塗装面を傷めるため、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
  - 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
  - DriveProは精密機械ですので、静電気や電氣的ノイズ等によりデータ破損/消失が発生することがあります。その場合は作動しません。
  - 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止してください。
  - 感電や故障の原因となりますので本体及び同梱品を分解等しないでください。
  - 強い磁場や振動がある場所でDriveProを使用しないでください。

- 別のカーアダプタを使用した場合、動作の保証ができませんので必ず付属の専用カーアダプタを使用してください。
- 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。
- 事故発生時は録画データが上書きされないようにmicroSDカードを保管してください。
- 液晶パネルの表示部を強く押したり、先の尖ったもので扱わないでください。
- サングラス等を通して液晶パネルを見ると偏光特性により表示が見えなくなることがあります。
- 周囲の温度が高くなると液晶パネルの表示部が黒くなる場合がありますが、ディスプレイの特性であり、故障ではありません。
- 液晶パネルは精密度の高い技術で製造されており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があることをご了承ください。
- microSDカードの挿抜時は本体に電源供給がされていないことを確認してください。
- microSDカードは必ずDriveProでフォーマットしてください。
- ワイドアングルレンズを使用しているため、映像にゆがみや影が生じることがあります。これはレンズの特性によるもので故障ではありません。
- GPSシステムはDriveProの動作や正確性に影響を与える場合があります。GPS情報は実際とは異なる場合があります、トランセンドはGPSデータの正確性を保証しません。走行中の判断の参照にはしないでください。
- GPS信号はビルやメタルコートフィルム遮断されることがあります。GPSデータの精度は天候や利用場所などにより変化します。(例: 高層ビル、トンネル、地下、森の中など)
- Wi-Fi機能はDriveProが電源に接続されている場合のみ利用できます。

## • 取付け位置

- DriveProはドライバの視界を遮ったり、エアバッグの作動を妨害しない位置に取り付けてください。また、脱落/落下による怪我や事故等を防ぐためにしっかりと取り付け、カーアダプタも確実に接続してください。
- 悪天候時にも鮮明な映像が撮影できるように、DriveProはフロントガラスのワイパー可動域に取り付けてください。
- 接触不良による火災を防ぐためにシガーソケットやカーアダプタの汚れはよく拭いてください。
- コードを傷つけないよう、無理に曲げたりしないでください。また、カーアダプタを抜くときはコードを引っ張らないようにしてください。
- テレビアンテナの近くで使用すると受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ⚠ 注意: 着色フィルムにダメージを与える恐れがありますので、着色ガラスの窓やフィルムが貼られている窓にDriveProを取り付けしないでください。

- データのバックアップ
  - トランセンドはデータの損失や損傷には一切の責任を負いません。  
定期的にPCやストレージメディアにDriveProのバックアップをとることをお勧めします。
  - microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長時間使用による不良セクタの発生等が原因で正常に記録できなかつたり、カードエラーで使用できなくなることがあります。
  - microSDカードの消耗に起因する故障等について弊社は一切の責任を負いません。
  - カードリーダーは使用するmicroSDカードに対応したものを使用してください。

 "注意"

極端な温度環境は、充電式バッテリーの液漏れを引き起こす要因となります。以下のような現象を防ぐために、安定した温度環境下で適切に使用ください。

- 過熱
- 火災
- 爆発
- 発煙

# 11. 仕様



DrivePro 550		
	2023年10月以前生産モデル	2023年11月以降生産モデル
サイズ	95.6 mm (L) × 65.9 mm (W) × 40.5 mm (H) 3.76" (L) × 2.59" (W) × 1.59" (H)	
重量	107 g (3.77 oz)	
接続インターフェース	USB 2.0	
ストレージ容量	付属の64GB microSDカード	
Wi-Fiプロトコル	802.11n	
周波数	2.4 GHz	
パネル	2.4インチのカラーTFT液晶	
レンズ	フロント: F/2.2, 150° (対角) リア: F/2.0, 130° (対角)	フロント: F/2.0, 140° (対角) リア: F/2.0, 140° (対角)
動画フォーマット	H.264 (MP4: 最大1920×1080P 60FPS)	H.264 (MP4: 最大2560×1440P 30FPS)
解像度 / フレームレート (最大)	フロント: 1920×1080P (60FPS) リア: 1920×1080P (30FPS)	フロント: 2560×1440P (30FPS) リア: 1920×1080P (30FPS)
動作環境温度	-20°C (-4°F) ~ 60°C (140°F)	

## DrivePro 550

	2023年10月以前生産モデル	2023年11月以降生産モデル
電源供給 (カーアダプタ)	入力: DC 12 V ~ 24 V 出力: DC 5 V / 2 A	
衛星システム	GPS / GLONASS	
認証	CE / FCC / BSMI / NCC / MIC / KC / EAC / RCM	CE / UKCA / FCC / BSMI / NCC / MIC / KC / EAC / RCM
保証期間	2年	
対応メモリカード	<a href="#">ウェブサイトの製品仕様を参照ください。</a>	
注記	付属のmicroSDカード以外のメモリカードを使用する場合は、トランセン ドの高耐久microSDカードやMLC NANDフラッシュを採用しているメモリ カードをご利用ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">高耐久microSDHCカード</a></li><li>• <a href="#">高耐久microSDXC 350Vカード</a></li></ul>	

## 12. EU Compliance Statement

Transcend Information hereby declares that all CE marked Transcend products incorporating radio equipment functionality are in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

[https://www.transcend-info.com/eu\\_compliance](https://www.transcend-info.com/eu_compliance)



Dashcam / Body Camera series	
Frequency: 2400 MHz to 2483.5 MHz	Maximum transmit power: < 100 mW

## 13. リサイクルと環境への配慮

製品のリサイクル(WEEE)とバッテリーの廃棄についてはウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/about/green>

## 14. Federal Communications Commission (FCC) Statement

This device complies with Part 15 FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference. (2) This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This Equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful

interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

#### RF Exposure Information (SAR)

This equipment complies with the FCC portable RF exposure limit set forth for an uncontrolled environment. The exposure standard for wireless devices employing a unit of measurement is known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

This equipment could be installed and operated with minimum distance 0cm between the radiator & your body.

- Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the authority to operate equipment.
- This device and its antenna must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Transcend Information Inc (USA)

1645 North Brian Street, Orange, CA 92867, U.S.A

TEL: +1-714-921-2000

## 15. 保証規定

本製品の保証期間は製品パッケージで確認できます。詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/warranty>

## 16. オープンソースソフトウェアの開示

詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/Legal/?no=10>

## 17. ソフトウェア利用許諾契約(EULA)

詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/legal/gpl-disclosure-eula>

## 18. Eurasian Conformity Mark (EAC)

